

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年6月2日(2016.6.2)

【公表番号】特表2015-519355(P2015-519355A)

【公表日】平成27年7月9日(2015.7.9)

【年通号数】公開・登録公報2015-044

【出願番号】特願2015-514499(P2015-514499)

【国際特許分類】

C 0 7 K	16/28	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 0 7 K	16/46	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	19/10	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)

【F I】

C 0 7 K	16/28	
C 1 2 N	5/00	1 0 2
C 0 7 K	16/46	
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	39/395	L
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	19/10	
A 6 1 P	31/00	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 K	45/00	

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月8日(2016.4.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

TLR3発現細胞におけるTLR3媒介シグナル伝達を阻害するモノクローナル抗体であって、前記抗体が、前記TLR3ポリペプチドのN末端部分のグリカンフリー外側面に結合し、前記抗体が、前記抗体と配列番号1の野生型TLR3ポリペプチド同士の結合に比して、配列番号1の前記TLR3ポリペプチドの残基64、65、86、89、112、113、115、117、120、137及び/又は139に突然変異を有する突然変異体TLR3ポリペプチドとの低減した結合を有する、モノクローナル抗体。

【請求項 2】

前記抗体が、前記抗体と配列番号1の野生型TLR3ポリペプチド同士の結合に比して、配列番号1のTLR3ポリペプチドの残基117及び120に突然変異を有するTLR3ポリペプチドに対し低減した結合を有する、請求項1に記載の抗体。

【請求項 3】

前記抗体が、前記抗体と配列番号1の野生型TLR3ポリペプチド同士の結合に比して、配列番号1のTLR3ポリペプチドの残基112、113及び115に突然変異を有するTLR3ポリペプチドに対し低減した結合を有する、請求項2に記載の抗体。

【請求項 4】

前記抗体が、前記抗体と配列番号1の野生型TLR3ポリペプチド同士の結合に比して、配列番号1のTLR3ポリペプチドの残基64及び65に突然変異を有するTLR3ポリペプチドに対し低減した結合を有する、請求項1に記載の抗体。

【請求項 5】

前記抗体が、ヒトTLR3ポリペプチドの前記N末端部分との結合について、d<sub>s</sub>R<sub>N</sub>Aと競合する、請求項4に記載の抗体。

【請求項 6】

前記抗体が、前記TLR3ポリペプチドの前記N末端部分の前記グリカンフリー外側面と結合しない、請求項1～5のいずれか1項に記載の抗体。

【請求項 7】

前記抗体が、前記抗体と配列番号1の野生型TLR3ポリペプチド同士の結合に比して、配列番号1の前記TLR3ポリペプチドの残基D116及び/又はK145に突然変異を有するTLR3ポリペプチドとの結合に有意な低減がない、請求項1～6のいずれか1項に記載の抗体。

【請求項 8】

ヒトTLR3ポリペプチドによるシグナル伝達を阻害するモノクローナル抗体であって、前記抗体が、以下：

(i) 配列番号3の重鎖可変領域のCDR1、2及び3アミノ酸配列を含む重鎖；及び/又は(b)配列番号4の軽鎖可変領域のCDR1、2及び3アミノ酸配列を含む軽鎖；

(ii) 配列番号14の重鎖可変領域のCDR1、2及び3アミノ酸配列を含む重鎖；及び/又は(b)配列番号15の軽鎖可変領域のCDR1、2及び3アミノ酸配列を含む軽鎖；

(iii) 配列番号25の重鎖可変領域のCDR1、2及び3アミノ酸配列を含む重鎖；及び/又は(b)配列番号26の軽鎖可変領域のCDR1、2及び3アミノ酸配列を含む軽鎖；

(iv) 配列番号36の重鎖可変領域のCDR1、2及び3アミノ酸配列を含む重鎖；及び/又は(b)配列番号37の軽鎖可変領域のCDR1、2及び3アミノ酸配列を含む軽鎖；又は

(v) 配列番号47の重鎖可変領域のCDR1、2及び3アミノ酸配列を含む重鎖；及び/又は(b)配列番号48の軽鎖可変領域のCDR1、2及び3アミノ酸配列を含む軽鎖を含むモノクローナル抗体。

**【請求項 9】**

前記抗体が、抗体 1 1 E 1、3 1 F 6、3 2 C 4、3 7 B 7 又は 7 G 1 1 と、ヒト T L R 3 ポリペプチドとの結合について競合する、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の抗体。

**【請求項 10】**

前記抗体が、T L R 3 発現細胞によってインターナライズすることができる、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の抗体。

**【請求項 11】**

前記抗体が、有毒部分と結合又は共有結合している、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の抗体。

**【請求項 12】**

炎症性又は自己免疫障害の治療に用いるための、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の抗体。

**【請求項 13】**

請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の抗体と、薬学的に許容される担体とを含む医薬組成物。

**【請求項 14】**

前記抗体が、25 m g ~ 500 m g の量で存在する、請求項 13 に記載の組成物。